

令和2年10月9日発行
 京都府丹後保健所 保健課
 (丹後地域包括ケア推進ネット)

1 アルツハイマー月間の啓発について

今年はコロナ禍につき、昨年までのような街頭やイベントにおける啓発活動を実施できませんでしたが、各市町を中心に、庁舎や図書館において展示を中心とした啓発が実施されましたので紹介します。

内容は、認知症に関する図書の紹介、当事者や家族・支援者からのアイメッセージの掲揚、デイサービス利用者等の作品展示、認知症に関する「あるある事例」をテーマにした手作りマンガの展示などです。

今は、手渡しや対面による啓発活動ができない中、皆さん、様々な啓発方法で知恵を絞っています。月間は終了しましたが、保健所として皆さんが啓発活動ができるようフォローアップしていきますので、今後も「このようなことをしてみたい」などのご相談がありましたらご連絡ください。



認知症対応型デイサービスの利用者による作品



認知症対応型デイサービスの職員による4コママンガ



新規オレンジロード隊員予定の方が制作した
 キャラバンメイトのキャラクターマスコット



当事者や家族・支援者のメッセージツリー



当事者や家族・支援者のメッセージひまわり



認知症に関する図書の紹介やリーフレット配架

2 若年性認知症支援研修会について

昨年度末から新型コロナウイルスの影響で延期していましたが若年性認知症支援研修会ですが、8月27日
にようやく開催できました。新たな試みとしてZoomによるオンライン、YouTube 動画、DVD 動画など
で、なるべく多くの方に受講していただけるよう工夫しました。

音声の安定化については課題がありましたが、受講スタイルの方法としては大変有効でした。

参加者からも、「コロナの影響で研修会が中止、延期が余儀なくされる中、オンラインシステムを活用するこ
とでたくさんの方が参加でき、当日に参加できなくても受講ができる配慮はありがたく、大変有意義な研修
会だった」との感想をいただきました。

そのほか、「仕事をするのが難しくなった時、本人が仕事をしたいという強い思いに対し、どうしたら良
いのか分からなかったが、少し目を開かせてもらった」

- ・「認知症に限らず心地よい居場所ややりがい、生きがいとなるものは必要だと思います。人のつ
ながり大切ですね」
- ・「若年性認知症の方が、高齢者の施設に通う際、プライドを尊重するというのはとても大事なこ
とで、気を付けなければいけないと深く心に残った」
- ・「様々な取り組みがあり、若年性認知症に対するイメージが明るいものになった。障害分野で
も参考にさせていただきたい」などの意見がありました。

また、講師や報告者への質問と回答の一部を掲載します。

・利用者と高校生とのオンライン会議における工夫は？	少人数のグループに分けて、議論の内容によっては、いくつかの選択肢の中から選んで もらうようにしたり、事前に利用者に意見を聞いたり、グループワーク後に、改めて意見 を聞き、学生に伝えることもある。
・若年性認知症の方の望みにつなげるのに必要な要素は？	仕事を作り出すには、給与（謝礼）を支払う仕組みや財源が必要。その確保のためにも、 企業や行政など異業種連携が必要だと感じている。 誰かの役に立ち、「居場所」があると感ずることが社会と繋がっている実感となり、心 の支えになっている。そういう環境をつくること、また、つくるために社会に発信するこ とが私たちの役割と考える。
・作業ができない方への社会参加や居場所作りの工夫は？	デイサービスの中でのお手伝いや個人の得意分野を活かした取り組みとしてのものづくり や販売、車屋さんの洗車活動、地域の子どもの安全を見守るパトロール活動など、普段 から自己選択、自己決定を行っていただくことの仕掛けを考えている。
・交通不便な地域で若年性認知症の方に運転を止めてもらう助言は？	自主返納については、認知症疾患医療センター、事業所、行政、友人、家人等が情報共 有し連携を図りながら、それぞれの立場からご本人にアプローチしていくようにしてい る。運転を止めたくない理由は人それぞれなので、その人の根底で、なにが理由なのかを 探る必要がある。 車を一緒に売りに行かれたという事例もあった。「人を同乗して走行するのは止めて欲 しい。」「登下校の時間帯や日が暮れてからの運転は止めて欲しい。」「遠方へは行かない で」等々それぞれの立場で色々と提案することが大切。

3 各種研修会について

今年是对面での研修等が減り、オンラインによるものが主となっています。

しかし、通常なら遠方で参加が難しい研修会にも、オンラインなら気軽に参加できるという利点がありま
す。せっかくの機会ですので、自宅や施設に居ながら自己啓発に時間を使うのも一つです。

近く開催されるオンライン研修の一部を掲載しますので、詳細はインターネットで検索してください。

- ・10月25日（日）13:00～15:30「第36回認知症の人と家族の会への援助をすすめる 全国研究集
会 in 三重」
- ・11月16日（月）10:00～16:45「若年性認知症支援における障害・介護連携実践研修 障害者福祉
サービスを知る～若年性認知症支援での障害者総合支援法と介護保険制度との連携」
- ・11月26日（木）13:10～15:10「令和2年度オレンジロードつなげ隊養成研修」…案内済
- ・その他セミナー等の情報：「ワムネット」<https://www.wam.go.jp/seminarPublic/public-top>
コロナ禍だからこそ、今できることを考えてみるのも大切なことですね。